



平成24年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年7月12日

上場会社名 コーナン商事株式会社 上場取引所 東証・大証
 コード番号 7516 URL <http://www.hc-kohnan.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 疋田 耕造
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 総合企画担当 (氏名) 品川 良一 (TEL) 072 (274) 1621
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第1四半期の業績（平成23年3月1日～平成23年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第1四半期	72,720	4.2	6,436	37.2	5,665	61.0	2,934	48.5
23年2月期第1四半期	69,819	△5.5	4,691	19.5	3,519	31.2	1,976	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年2月期第1四半期	94	89	84	71
23年2月期第1四半期	63	92	63	73

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
24年2月期第1四半期	235,461		66,377		28.2		2,144	95
23年2月期	226,714		63,569		28.0		2,056	38

(参考) 自己資本 24年2月期第1四半期 66,377百万円 23年2月期 63,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年2月期	—	—	11	00	—	—	11	00	22	00
24年2月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	14	00	—	—	14	00	28	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成24年2月期の業績予想（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期累計期間	144,650	2.3	11,460	26.1	9,800	35.8	4,340	21.9	139	98
通期	280,000	1.5	19,220	15.7	16,000	21.7	7,800	17.7	250	98

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年2月期1Q	31,022,885株	23年2月期	30,991,240株
24年2月期1Q	76,983株	23年2月期	78,072株
24年2月期1Q	30,920,295株	23年2月期1Q	30,912,042株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、その四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続の実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後発生する様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
商品部門別売上高明細表	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

ホームセンター業界では、東日本大震災発生後、商品供給の制約に対する懸念等から駆け込み的需要が生じたほか、節電や暑さ対策に適した商品の需要が増加しております。もっとも、国内の雇用・所得環境が不透明なことから、個人消費の先行きも予断を許さない状況が続いております。

この様な状況のもと、当第1四半期にホームセンター1店舗（兵庫県）、プロを1店舗（大阪府）出店し、5月末現在の店舗数は232店舗（うち、ホームストックは54店舗）となりました。

この結果、当第1四半期会計期間の売上高は72,720百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。商品部門別では、震災及び省エネ対応で乾電池、LED電球、扇風機等の売上急増から、電材・照明及び家電関連が高い伸びとなり、また、木材・建材、塗料・作業用品なども堅調となった反面、ペット用品、文具・事務用品等は伸び悩みました。

売上高が増加したことに加え、売上総利益率が35.3%と前年同四半期比1.6ポイント向上したことにより、売上総利益は25,687百万円（前年同四半期比9.3%増）となりました。営業収入は3,161百万円（前年同四半期比0.0%増）、販売費及び一般管理費は22,412百万円（前年同四半期比2.0%増）となり、営業利益は6,436百万円（前年同四半期比37.2%増）となりました。

経常利益は、営業利益が増加したほか、為替差損が減少したことにより5,665百万円（前年同四半期比61.0%増）と大幅増益となりました。また、四半期純利益は、特別損失に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額547百万円を計上したものの、2,934百万円（前年同四半期比48.5%増）と大幅増益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(財政状態の変動状況)

当第1四半期末の総資産は前期末より8,747百万円増加し、235,461百万円となりました。売掛金が973百万円、商品及び製品が5,739百万円、有形固定資産が1,739百万円増加したことなどによります。

当第1四半期末の純資産は66,377百万円で、自己資本比率は前期末より0.2ポイント向上し、28.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ868百万円減少し、5,308百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が5,117百万円となった他、仕入債務の増加額6,162百万円などの収入がありましたが、たな卸資産の増加額5,767百万円及び法人税等の支払額4,478百万円などの支出により、2,010百万円の収入（前年同四半期比63.1%減）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出2,170百万円及び差入保証金の差入による支出717百万円などにより、2,988百万円の支出（前年同四半期比40.4%増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、セール・アンド・割賦バックによる収入523百万円及び借入金の純増額227百万円がありましたが、配当金の支払額293百万円の支出等により、110百万円の収入（前年同四半期は3,660百万円の支出）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の通期の業績予想は、当第1四半期の業績等を踏まえて、平成23年4月12日付で公表しました業績予想を修正しております。

通期の業績見込みとしては、売上高280,000百万円(前期比1.5%増)、営業利益19,220百万円(前期比15.7%増)、経常利益16,000百万円(前期比21.7%増)、当期純利益7,800百万円(前期比17.7%増)と見込んでおります。

なお、東日本での電力状況等により、業績には変動が見込まれます。

上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

棚卸資産の評価は実地棚卸を省略し、帳簿棚卸により算定しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ18百万円、税引前四半期純利益は565百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,612百万円であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,327	6,195
売掛金	3,917	2,944
商品及び製品	59,377	53,637
原材料及び貯蔵品	412	384
繰延税金資産	2,035	2,229
その他	6,048	5,099
貸倒引当金	△78	△56
流動資産合計	77,041	70,435
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	62,165	60,580
土地	28,861	28,861
建設仮勘定	875	763
その他（純額）	13,675	13,631
有形固定資産合計	105,577	103,837
無形固定資産	5,185	5,095
投資その他の資産		
投資有価証券	1,481	1,562
差入保証金	43,119	42,751
その他	3,100	3,080
貸倒引当金	△44	△48
投資その他の資産合計	47,657	47,345
固定資産合計	158,420	156,278
資産合計	235,461	226,714
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,393	21,231
短期借入金	—	1,000
1年内返済予定の長期借入金	30,075	29,573
1年内償還予定の社債	625	468
未払法人税等	2,448	4,719
賞与引当金	1,765	1,169
役員賞与引当金	51	115
店舗閉鎖損失引当金	513	518
為替予約	1,286	1,674
その他	9,117	8,679
流動負債合計	73,276	69,148

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
固定負債		
社債	5,345	5,531
長期借入金	62,874	62,149
資産除去債務	1,631	—
繰延税金負債	719	912
受入保証金	14,487	14,612
その他	10,749	10,790
固定負債合計	95,807	93,996
負債合計	169,084	163,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,924	15,909
資本剰余金	16,182	16,167
利益剰余金	35,163	32,568
自己株式	△109	△111
株主資本合計	67,160	64,534
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△19	27
繰延ヘッジ損益	△762	△992
評価・換算差額等合計	△782	△965
純資産合計	66,377	63,569
負債純資産合計	235,461	226,714

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)
売上高	69,819	72,720
売上原価	46,316	47,033
売上総利益	23,502	25,687
営業収入	3,161	3,161
販売費及び一般管理費	21,972	22,412
営業利益	4,691	6,436
営業外収益		
受取利息	39	37
受取事務手数料	18	15
その他	26	25
営業外収益合計	84	78
営業外費用		
支払利息	686	611
為替差損	397	146
その他	173	91
営業外費用合計	1,256	848
経常利益	3,519	5,665
特別利益		
受入保証金解約益	6	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産除却損	4	0
投資有価証券評価損	3	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	547
特別損失合計	7	548
税引前四半期純利益	3,518	5,117
法人税、住民税及び事業税	1,595	2,308
法人税等調整額	△53	△124
法人税等合計	1,542	2,183
四半期純利益	1,976	2,934

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	3,518	5,117
減価償却費	1,344	1,433
のれん償却額	41	41
固定資産除却損	4	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	547
受取利息及び受取配当金	△39	△37
支払利息	686	611
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,018	△973
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,861	△5,767
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,655	6,162
その他	△564	△46
小計	6,766	7,089
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△758	△604
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△568	△4,478
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,443	2,010
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,697	△2,170
差入保証金の差入による支出	△388	△717
差入保証金の回収による収入	345	343
預り保証金の受入による収入	7	5
預り保証金の返還による支出	△151	△152
その他	△244	△297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,129	△2,988
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△1,000	△1,000
長期借入れによる収入	10,000	9,000
長期借入金の返済による支出	△7,920	△7,772
リース債務の返済による支出	△43	△53
セール・アンド・割賦バックによる収入	3,218	523
割賦債務の返済による支出	△175	△295
社債の発行による収入	2,500	—
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△239	△293
その他	△0	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,660	110
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△346	△868
現金及び現金同等物の期首残高	5,048	6,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,701	5,308

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

商品部門別売上高明細表

商品部門別	金額(百万円)	前年同期比(%)
ホームインプローブメント (DIY用品)	26,595	105.6
ハウスキーピング(家庭用品)	31,139	105.6
カー・レジャー (カー・レジャー用品)	13,476	96.4
その他	1,508	129.6
合計	72,720	104.2

(注) 1. 商品部門別の各構成内容は、次のとおりであります。

- (1) ホームインプローブメント (木材、建材、工具、建築金物、塗料・作業用品、園芸用品、園芸植物、資材、エクステリア、水道、住設機器、リフォーム)
- (2) ハウスキーピング (ダイニング用品、インテリア、電材・照明、日用品、収納用品、薬品、履物・衣料、家庭雑貨品、家電、介護用品、フード、酒類)
- (3) カー・レジャー (カー用品、ペット用品、文具・事務用品、サイクル・レジャー用品)
- (4) その他 (バラエティグッズ、書籍、自動販売機、灯油)

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。